

POWERCHAIR

milite

ミライト・ウイング

ELELIFE MIKI

E! サポート車いす
CRT-ES-4 / KJP-ES-4

クイックガイド

本書は、本製品を正しく良好な状態でご使用いただくために、車いすの移動の基本的な使いかたについてまとめたものです。

ご使用前に必ず本書と、取扱説明書を必ずお読みになり、十分に理解をした上でお使いください。

また、本書はいつでもご覧になれる所に大切に保管しておいてください。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この取扱説明書では、お使いになる人や他の人への危害・物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくこと説明しています。

記号の意味



警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



禁止の行為であることを告げるものです。



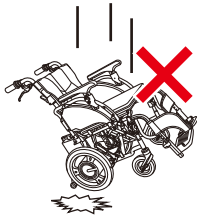
行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意（つづき）

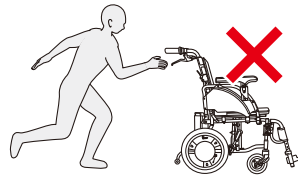
（車いすの操作、取り扱いについて）

警告 （重傷を招く可能性があるもの）

- ❌ 車いすの移動、持ち運び、積み下ろしの際は、落下させたり、投げ出したり、急に前後に動かしたりしない。



落とさない



投げ出さない

- ❗ 車いすを持ち運ぶ際や、自動車などへ載せる際および積み下ろす際は、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけて、主輪（ホイール）が回転しない状態で行う。
- ❗ 乗り降りの際および停止時、車いすから離れるときは、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけて、本体の電源を切る。
- ❗ 滑りやすい路面や濡れた路面では、路面の状況やまわりの安全に十分注意しながら、慎重に操作する。
- ❌ 車いすは14°を超える坂道で使用しない。
- ❌ 傾斜地など不安定な場所で駐車や停車をしない。
- ❌ 坂道の途中で電源を切らない。
- ❌ 手押しハンドルやグリッププッシュに荷物を吊り下げたりしない。
- ❌ 手押しハンドルを持ち上げて車いすを移動させるときは、必ず本体の電源を切る。
- ❌ 車いすを水洗いしたり、水で濡らしたりしない。
- ❌ グリッププッシュのジャバラ部分を強く握ったりしない。

注意 （傷害および物的損害を招く可能性があるもの）

- ❌ 子供が触れやすい場所には放置しない。
- ❗ 車いすの操作は介助者が行う。

- ❗ 走行前に、使用者に対してシートベルトを締めてしっかりと着座しているか確認する。
- ⊘ 駐車ブレーキをかけたまま走行しない。
- ⊘ 車いすが結露しているときは使用しない。
- ⊘ 車いすや充電器の配線を引っ張らない。
- ❗ 段差を越えるときは、所定の操作を行う。
(P.10「グリッププッシュ入力無効モード」「段の上がりかた」参照)

(バッテリー、充電器の取り扱いについて)

危険 (死亡または重傷を招く可能性があるもの)

- ⊘ 指定されたバッテリー以外は使用しない。
- ⊘ 火の中に入れてない。

警告 (重傷を招く可能性があるもの)

- ⊘ 使用中にバッテリーを抜かない。
- ⊘ 高温多湿の場所に放置しない。
- ⊘ 水の中に入れてたり、濡らしたりしない。
- ⊘ 端子をショートさせない。
- ⊘ 分解・改造をしない。
- ⊘ 落下させたり、衝撃を与えない。
- ❗ 充電は専用充電器を使う。

注意 (傷害および物的損害を招く可能性があるもの)

- ❗ 車いすの走行時以外は、必ず本体の電源を切り、バッテリーを取り外す。
- ❗ バッテリーは充電の残量に余裕があるものを使用する。
- ❗ 長期間使用しないときも、2ヶ月に一度、定期的に充電する。

各部のなまえ

(写真はCRT-ES-4)

本体



バッテリー／制御ユニット部



電源スイッチパネル

制御ユニット

バッテリー

充電器



充電器

電源ケーブル

電源スイッチパネル部



電池残量
表示ランプ
(緑／赤)

電源ランプ(緑)

電源スイッチ

走行上のご注意

● 車いすの走行について

⚠ 危険

- ・ 介助者は、傘をさしながらなど、片手での操作を行わないでください。車いすが蛇行、斜行するなど大変危険です。
- ・ 傾斜地ではスピードが出やすいため、走行には十分注意してください。
- ・ 側溝や踏切の線路による落輪、キャストのはさみ込みには十分注意してください。

● 雨天時の使用について

- ・ 本製品は日常生活用防水機能を備えています。少雨程度であれば使用に問題ありません。
- ・ 雨天時に使用した後は、必ず車いすに付着した水分を拭き取り、車いすとバッテリーを乾燥させてください。

⚠ 警告

雨天時の路面はタイヤが滑りやすく、大変危険です。やむを得ず雨天時の屋外で使用する際は、まわりの安全や路面に注意しながら、慎重に操作してください。

バッテリーの取り扱い

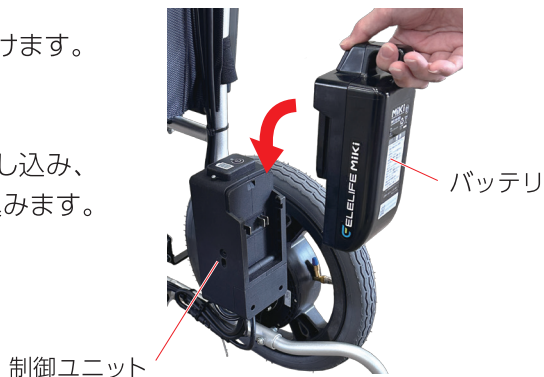
注意

バッテリーの取り付け、取り外しは、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけ、本体の電源を切ってから行ってください。

取り付けかた

1 両輪の駐車用ブレーキをかけます。

2 バッテリーを制御ユニットに差し込み、カチッと音がるまで押し込みます。



注意

バッテリーが確実に固定されていることを確認してください。

外しかた

1 両輪の駐車用ブレーキをかけて、本体の電源を切ります。

2 解除ボタンを押しながら、バッテリーを上引っ張って外します。



電源について

電源を入れる

- 1 両輪の駐車用ブレーキをかけます。
- 2 バッテリーが確実に固定されていることを確認します。
- 3 電源スイッチを長押しします。
(約1秒間)
- 4 電源が入ると、ブザーが鳴り、電源ランプが緑色に点灯します。
同時に、電池残量表示ランプが点灯します。

電源スイッチパネル



バッテリー

制御ユニット



注意

電源を入れるときは、グリッププッシュから手を放してください。グリッププッシュを握ったまま電源を入れると、エラーが表示されます。(⇒「P.11 警告表示について」コード9)

電源を切る

- 1 電源スイッチを長押しします。(約1秒間)
- 2 ブザーが鳴り、電源ランプと、電池残量表示ランプが消灯します。



注意

再度電源を入れる際は、電源を切った状態から5秒以上経ってから、電源を入れてください。

操作のしかた(グリッププッシュ式)

⚠ 注意

- ・ 介助者は、車いすの速度(前進・後進・旋回)に合わせて動いてください。
- ・ 車いすの動き以上にグリッププッシュを押したり引いたりすると、車いすの動きが重く感じることがあります。
- ・ 走行時にグリッププッシュから手を放すと、車いすは徐々に減速したのちに停止します。
- ・ 移動時は常に左右のグリッププッシュを握り続けてください。減速・停止する際は、制動用ブレーキを使用してください。
- ・ 停止した状態でグリッププッシュから手を放すと、車いすは停止状態を維持します。
- ・ 車いすを駐車するときは、水平で平坦な場所に駐車してください。必ず両輪の駐車用ブレーキをかけて、本体の電源を切ってください。

前進したいとき

左右のグリッププッシュを軽く握り、前方に軽く押してください。車いすが前進をはじめます。

(最高速度 約5km/h)

希望の速度になったら、グリッププッシュを中立の位置に戻す(押すのをやめると、速度を維持した状態で、車いすは走行を続けます。



● 前進時に減速したいとき

握っている左右のグリッププッシュを後方に軽く引いてください。車いすが減速をはじめます。

希望の速度になったら、グリッププッシュを中立の位置に戻す(引くのをやめると、速度を維持した状態で、車いすは走行を続けます。

● 停止させたいとき

握っている左右のグリッププッシュを後方に引き続けて、車いすが止まるのを待ちます。

車いすが停止したら、グリッププッシュから手を放します。

後進したいとき

左右のグリッププッシュを軽く握り、後方に軽く引いてください。
車いすが後進をはじめます。(最高速度 約2km/h)

● 後進時に減速したいとき

握っている左右のグリッププッシュを中立の位置に戻す(引くのをやめる)と、徐々に減速します。

握っている左右のグリッププッシュを前方に軽く押し出すと、車いすは減速、停止したのち、前進に切り替わります。

● 停止させたいとき

握っている左右のグリッププッシュを前方に押し続けて、車いすが止まるのを待ちます。

車いすが停止したら、グリッププッシュから手を放します。

旋回したいとき

左右のグリッププッシュを軽く握り、グリッププッシュを前後に動かしてください。



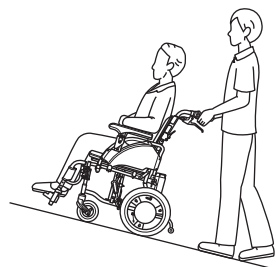
坂道での操作

左右のグリッププッシュ操作により、車いすはゆっくりと作動します。

*坂道の途中でグリッププッシュから手を放すと、車いすは徐々に減速したのちに停止します。

⚠ 注意

- ・ 登坂角度14°を超える坂道では使用しないでください。
- ・ 下り坂では、必ず車いすを後ろ向きにして操作してください。また、常に進行方向を確認しながら下りてください。



グリッププッシュ入力無効モード

段差をこえるときなど、一時的に電動走行をキャンセルしたいときは、グリッププッシュ入力無効モードに切り替えます。

● グリッププッシュ入力を無効にする

制動用ブレーキレバーを2秒以内に[右→左→右→左]と、交互に2回ずつ握って放してください。

※無効モード時は、ブザーが鳴り続けます。(ピピピピピッ…)

※グリッププッシュ入力無効モードでは、手動型車いすと同じ操作で、段を上ることができます。

● グリッププッシュ入力を有効に戻す

再度制動用ブレーキレバーを2秒以内に[右→左→右→左]と、交互に2回ずつ握って放す操作を行ってください。

ブザーが止まり、グリッププッシュ入力が有効となります。



制動用ブレーキレバー

段の上がりかた



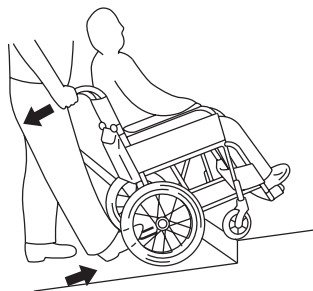
注意

段差を上り下りする際は、必ず本体の電源を切るか、「グリッププッシュ入力無効モード」に切り替えてから、車いすの操作を行ってください。

1 足元のティッピングレバーを押し出し、手押しハンドルを手前に引くようにして、キャスタを段の上にあげます。

2 主輪(ホイール)を段に突き当て、車いすを押しながら手押しハンドルを持ち上げます。

※無理な力による段差の乗り越えは、フレームやユニットの破損につながります。



警告表示について

使用中、車いすが動かなかったり、止まったりしたとき。
ブザーが鳴ったとき、ランプが正常に点灯しない場合は、以下を確認してください。

● エラー一覧



発生すると動作を停止します。安全な場所に移動して状況を確認してください。

コード	ブザー音	電源スイッチ部	状 況	対処方法
7	ピッ(×2) ポー… (連続)	 点滅	電源起動時に、 グリップが中立位置を 認識しない。	本体の電源を切ってください。 そのあと、グリッププッシュを 握らずに電源を再度オンにして ください。
10	ピッ(×4) ポー… (連続)	 (停止時)点滅	制御ユニット内部の温度 が75℃以上でブザー が鳴り出力制限。85℃ 以上で車いすは停止 (ランプ点滅)。	本体の電源を切ってください。 そのあと、日陰などの涼しい所 で車いすを冷ましてください。
11	ピッ(×5) ポー… (連続)	 (停止時)点滅	モータ内部の温度が 75℃以上でブザーが 鳴り出力制限。 85℃以上で車いすは 停止(ランプ点滅)。	本体の電源を切ってください。 そのあと、日陰などの涼しい所 で車いすを冷ましてください。
12	ピッ(×6) ポー… (連続)	 (停止時)点滅	バッテリー内部の温度が 55℃以上でブザーが 鳴り出力制限。 60℃以上で車いすは 停止(ランプ点滅)。	本体の電源を切ってください。 そのあと、日陰などの涼しい所 で車いすを冷ましてください。
13	ピッ(×7) ポー… (連続)	 点滅	グリッププッシュが 前進/後進状態のまま、 モータが回転しない 状態が連続で約20秒間 続いた時。 車いすは停止。	本体の電源を切ってください。 そのあと、手で車いすを押 して、タイヤがロックしていない ことを確認してから、グリップ プッシュを握らずに電源を再度 オンにしてください。それでも モータが回転しない場合は、 販売店にお知らせください。
14	ピッ(×8) ポー… (連続)	 点滅	モータの配線に異常が あったときに発生。	本体の電源を切ってください。 そのあと、ただちに使用を中止 して、販売店にお知らせください。

警告表示について (つづき)



● バッテリー残量警告一覧

バッテリーの残量を表示して、残量が少なくなるときは警告します。

コード	ブザー音	電源スイッチ部	状 況	対処方法
1	ピッ ピッ… (連続)	 点灯(赤) 点灯	バッテリー残量が残り少ない時に発生。	お早めにバッテリーを充電してください。
2	ピ ポ ピ ポ… (連続)	 速く点滅(赤) 点灯	バッテリー残量切れ。車いすは停止。	ただちにバッテリーを充電してください。

● 警告一覧

発生したら以下の対処を行ってください。

コード	ブザー音	電源スイッチ部	状 況	対処方法
3	ピピッ ピピッ… (連続)	 (変化なし)	車いすに触れていない状態(停止モード)に入ってから10分経過した時に発生。	グリッププッシュを握ると復帰します。引き続き停止する場合は、本体の電源を切ってください。
4	ピピピピピッ ピピピピピッ… (連続)	 (変化なし)	グリッププッシュ入力が無効になっているとき。 (⇒P.10)	制動用ブレーキレバーを2秒以内に[右→左→右→左]と2回ずつ交互に握ってください。ブザー音が消えて、グリップ入力がふたたび有効に戻ります。

「E! サポート」とは、介助者の車いす操作の負担を軽減するため、電動モーターが補助(アシスト)する仕組みです。

本書で使用している画像・イラストは、ご購入いただいた製品と異なる場合があります。製品向上のため、本書に記載している仕様の全部、または一部を予告なく変更することがあります。

操作についての動画はこちら



製造元

 Wheel Chair
Miki

株式会社 ミキ

〒457-0863 名古屋市南区豊三丁目38番10号

2510-Q05-ES4